

中村キース・ヘリング美術館 ナショナル・カミングアウト・デーにあわせ山梨・東京
で特別企画を展開
ローマでのキース・ヘリング展も開幕

ニューヨークを拠点に活躍したアーティスト、キース・ヘリング(1958-1990)を紹介する世界唯一の美術館である中村キース・ヘリング美術館(山梨県・小淵沢)は、ナショナル・カミングアウト・デー(10月11日)にあわせて、多様性と自己表現を讃える多角的な取り組みを展開します。

館内では「ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター」を特別展示。館外では、1970年代から地域に親しまれ、音楽やアート、ファッション、フードなど、さまざまなカルチャーが交差する「笹塚ボウル」(東京都渋谷区)にて、ポップアップショップ(10月11日(日)~18日(日))を開催。

さらに今月6日より、イタリアの「ローマ博物館」にて当館のコレクションを中心に、イタリア国内外からの貴重な作品が一堂に会する大規模な「キース・ヘリング」展が開幕。本展においても、当館所蔵の「ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター」を公開します。



ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター、1988年
All Keith Haring Artwork © Keith Haring Foundation
Courtesy of Nakamura Keith Haring Collection.

「私はゲイであることを誇りに思います。あらゆる肌の色の友人や恋人がいることを誇りに思います。」

——1987年3月28日『キース・ヘリング・ジャーナル』より

10月11日の「ナショナル・カミングアウト・デー」は、1988年に心理学者であるロバート・アイクバーク博士とLGBTQ+権利活動家のジーン・オリアリーのもと、性的指向や性自認を公言する人々を祝福する国際的な記念日として定められました。現在その理念は世界中に広がり、毎年各地でLGBTQ+コミュニティに関する大規模な祝典などが開催されています。

中村キース・ヘリング美術館では、ゲイであることを公表してアーティスト活動を行ったヘリングの遺志を受け継ぎ、作品展示やイベントを通して、コミュニティへの支援を続けています。

1. 「ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター」公開



キース・ヘリングは性的少数者への差別や偏見が色濃く残っていた1980年代に、自身がゲイであることを公表して活動しました。今回展示する「ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター」は、1988年にこの記念日の発足にあたり制作された作品です。英語圏では「クローゼットに閉じこもる」とも表現されるLGBTQ+であることを周囲に明かしていない状態から一歩踏み出し、カミングアウトしてありのままの自分で生きることを色鮮やかに祝福する本作は、ナショナル・カミングアウト・デーのシンボルとして今日までコミュニティの人々に勇気を与え続けてきました。今回展示するポスターは、在ニューヨークのキース・ヘリング財団より昨年寄贈を受けた貴重な資料です。時代を越えて届くヘリングのメッセージを体感いただけることでしょう。

「ナショナル・カミングアウト・デーのためのポスター」特別展示

会 期: 2026年8月30日(日)～10月18日(日)

会 場: 中村キース・ヘリング美術館 エントランス

2. 笹塚ボウルでのポップアップショップ

2026年10月11日(日)から10月18日(日)の期間、笹塚ボウルにて「Nakamura Keith Haring Collection National Coming Out Day Pop-up at Sasazuka Bowl」を開催中です。

「ナショナル・カミングアウト・デー」にちなんで開催する本イベントでは、LGBTQ+コミュニティを祝福するシンボルが施されたグッズのほか、キース・ヘリングの人気アイテムを販売します。

初日の10月11日は、ナショナル・カミングアウト・デー当日ということで、ドラッグクイーンとしてのパフォーマンスはもちろん、DJとしてもフロアを魅了するTastyさんを迎え、オープニングパーティーを開催しました。当日は100名を超えるお客さまにご来場いただき、盛り上がりのあるスタートとなりました。



ポップアップショップ「Nakamura Keith Haring Collection National Coming Out Day Pop-up at Sasazuka Bowl」

会 期: 2026年10月11日(日)～10月18日(日) *会期中定休日なし *最終日18日(日)は18:00まで

会 場: 笹塚ボウル

入場料 : 無料

笹塚ボウル

住 所: 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1丁目57-10 3F

開館時間: 【日～木】8:00～翌0:00、【金・土】8:00～翌3:00

3. 「キース・ヘリング」展(ローマ博物館、イタリア)

2026年10月6日(火)より、イタリアのローマ博物館(パラッツォ・ブラスキ)にて「キース・ヘリング」展が開幕しました。本展では、当館コレクションから約130点の作品が出品されるほか、イタリア国内外から貴重な作品の数々が一堂に会します。イタリアで当館のコレクションが公開されるのは、2017年のミラノ、2021年のピサに次いで3度目。かつて宮殿として使用されていたパラッツォ・ブラスキの建築的特性を生かしたキュレーションを通じて、ヘリング作品に込められた普遍的なメッセージを紹介します。また、ヘリングとイタリアの関わりにも焦点を当て、その活動と作品を多角的に紐解きます。



Photo: ©Monkeys Video Lab

展覧会「Keith Haring」

会 場: ローマ博物館(パラッツォ・ブラスキ)

住 所: ローマ市サン・パンタレオ広場10(ナヴォーナ広場2)

会 期: 2026年10月6日(火)～2027年4月11日(日)

開館時間: 火曜日～日曜日 10:00～19:00(最終入館は閉館の1時間前)※月曜休館

主 催: ローマ市文化局およびホロコースト記念日に関する事業調整室局、ローマ市文化財監督局

共同制作・企画: ローマ市文化財監督局、モンドモストレ

運営協力: ゼテマ・プロジェクト・クルトウーラ

協 力: 中村キース・ヘリング美術館

メインスポンサー: フィネコバンク

近年の当館のLGBTQ+促進の取り組み例

- ・2026年6月23日プレスリリース
[中村キース・ヘリング美術館 プライド月間にあわせた3つの取り組みを展開「Tokyo Pride 2026」でのHIV啓発Tシャツ制作協力や、館内での特別展示・特設ブースを同時実施](#)
- ・2025年6月25日プレスリリース
[「プライド月間にあわせた5つの取り組みを実施」](#)
- ・2025年10月8日プレスリリース
[「ナショナル・カミングアウト・デーに、キース・ヘリングのメッセージを伝える特別展示と関連企画を開催」](#)
- ・2024年2月24日 2024年2月19日 Beyond magazine
[「DE&I の“E \(Equity\)”と“I \(Inclusion\)”に自分軸を。」](#)
- ・2024年2月14日
[「いつも見かけるトイレのマークに違和感を感じる？ 感じない？」3名のゲストを招いたオンライン座談会開催](#)
- ・2023年5月17日 キース・ヘリング:NYダウタウン・ルネサンス展関連イベント
[プライド月間企画「中村キース・ヘリング美術館 クィア・フィルム上映会」開催](#)
- ・2022年5月22日【W大阪】「中村キース・ヘリング美術館」デコレーションルームが初登場！
[プライド月間\(Pride Month\)に合わせて開催。ヘリングのアートをイメージしたオリジナルカクテルも。](#)

当館の社会活動についてはこちらをご覧ください: <https://www.nakamura-haring.com/timeline/>

中村キース・ヘリング美術館について



2007年4月、当館はニューヨークを拠点に活躍したアーティスト、キース・ヘリングを紹介する世界で唯一の美術館として、ハケ岳の麓に位置する小淵沢に開館しました。コレクターであり館長を務める中村和男によって蒐集されたおよそ300点の作品のほか、記録写真や映像、生前に制作されたグッズなど700点以上の資料を収蔵。国際的建築家である北川原温により設計された建築は、傾斜した地形に沿って「闇から希望へ」というテーマのもとにキース・ヘリングの作品を体感できる場であり、毎年異なるテーマによるコレクション展や現代を代表するアーティストを迎えての企画展などを開催し国内外から多くの来館者を迎えています。

さらに、当館はコレクションを公開する場としてだけでなく、アートを通して社会に問題提起を行い続けたアーティスト、キース・ヘリングの作品と遺志を引き継いだ活動を行うことを目標に、国際児童絵画コンクール

の開催やHIV／エイズや感染症、SDGsやLGBTQ+に関すること、戦争と平和や環境問題についての啓発活動を展示やイベント、YouTubeやInstagramを活用したweb上での発信などさまざまな形で引き続き行っています。

公式サイト: <https://www.nakamura-haring.com>

Instagram: <https://www.instagram.com/nakamurakeithharingcollection>

Facebook: https://www.facebook.com/nakamura_haring

X: https://twitter.com/nakamura_haring

< 本件に関する報道関係お問合せ先 >

担 当: 田中、木虎 連絡先: pr_nkhc@keith.jp